



WITH FLOWERS

～暮らしに花を～

総合会館外階段に新しい花壇ができました！

こちらは、建物の影であまり日光が当たらず、湿気も多い、植物にとってはやや生育しにくい環境です。ここには、そんな環境でも楽しめる植物を植え込みました。白花のインパチェンスと「カラーリーフ」と呼ばれる植物のギボウシやヒューケラです。

カラーリーフとは主に美しい葉を楽しむ植物のことで、鮮やかな葉で花壇を彩ってくれるだけでなく、周りのお花を引き立ててくれる名脇役でもあります。赤や紫、オレンジ、白い模様が入ったものなど、こちらの花壇だけでもたくさんの種類の葉を見ることができます。



▲少し離れたところから。段になっているので、交差点からでも花を眺めることができます。

◀日陰でも元気な植物がこんもりと茂っています。葉の色に注目です。

プランタースペースの紹介

本庁舎と総合会館を結ぶ渡り廊下では、フラワーサポーターの植えたアンズリウムやポトスなど暑さに強い観葉植物たちが、夏の間ずっと美しく彩ってくれていました。



問 地域支援課 花いっぱい推進室 ☎21-1435 ☎23-2236

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

1967(昭和42)年に東武東上線の坂戸町駅(現・坂戸駅)から高坂駅間、翌年には高坂駅から東松山駅間が複線化されました。これにより運行可能な列車本数が増え、飛躍的に利便性が向上しました。その後、土地区画整理事業が進められたこともあり、年々人口が増加し、東松山市は近郊都市として発展していきます。

東武東上線の東松山駅は、1923(大正12)年に「武州松山駅」という駅名で開設したんだよ！



1町4村が合併して東松山市が誕生した1954(昭和29)年に駅名を「東松山駅」に改称したんだよ！

キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。

東武東上線複線化

1967(昭和42)年



ちょっとより道

しんひがしまつやまばし たかさか
新東松山橋(高坂)

新東松山橋は市内を流れる都幾川にかかる橋長246メートル、5径間のPC(プレストレスト・コンクリート※)橋です。幅員は歩道部分を含め23.8メートルあります。2007(平成19)年、西側の橋が完成、暫定2車線で開通しました。2015(平成27)年2月には、現在と同じ4車線での供用を開始しました。



交通：東武東上線「高坂駅」東口から徒歩約20分
所在地：高坂529番地3ほか

歩道には4か所の展望スペースがあり、西向きに都幾川の上流を望むと、遠くに秩父山地が見える絶景の夕日スポットが広がっています。運が良ければ富士山を望むことができます。一度より道をしてみませんか。



展望スペースから望む夕日



現在、新東松山橋の周辺では都幾川の堤防整備を進めています

※プレストレスト・コンクリート(prestressed concrete)…あらかじめ応力を加えたコンクリート材

コアラ通信 公園で秋探し

しんめいしょうがっこう 新明小学校

10月7日(木)の2時間目に、新明小学校1年生2クラスの児童が、御茶山町児童公園に行き、身近にある秋を探しました。

公園に着くと子どもたちは「大きなどんぐりさんみつけ」「見て見て大きな枯れ葉」などと、見つけた秋を教え合いながら観察していました。

